



TITLE:

通信

AUTHOR(S):

CITATION:

通信. 天界 1931, 11(128): 548-550

ISSUE DATE:

1931-11-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161732>

RIGHT:

通信

カルホニヤ便り

拜啓仕候先日小生が一彗星を發見候に就て遙々祝電に接し恐縮の至りに御座候、御推察の御事と存候が小生の天文學はジュニエンアメチャーを越へざる誠に Poor なものにして今回の彗星發見などは實に僥倖に過ぎざるものに御座候、それにもかゝらず諸方面より多大の稱讃に預り面目此れに過ぎずと存じ候。

私は小供の時より星を見月を眺める事に興味を持ち居り候ひしが一千九百七年渡米後此の地加州インペリアルバレー(帝國平原と同胞間に呼ばる)に入り今日まで農業に従事致し候が此の地は加州南端にある砂漠の中央にある米國有數の大農園地にして雨少なく一年大凡三百五十日は天を眺め得る所に候夏期は毎日百度一百十五度と云ふ炎熱の地に候が夕刻より涼しくなり夕涼みなどに何時も星を見月を眺め居り候が大凡十年ばかり前二時計りの望遠鏡を求め土星の輪金星のクレセントなどを見出しよいよ興味を深からしめ續いて同好會發行の天界、天文月報、或ひはポピュラーアストロノミー、及び貴家の著書宇宙開拓史標準天文學其他手に入る書籍の亂讀と古賀恒星圖を相手に研究致し居候が此の三月ツアイスの八〇ミリメートル望遠鏡[Carl Zeiss 80mm. refracting with B Objective, Altazimuth Mounting(Asnasse)]を購求、より深く興味を覺へ日夜此を使用致居候彗星發見時の事情は去る七月十五日午後八時十五分(T. S. p.)土星の衛星(チタン?)の光度と海王星の光度が私の望遠鏡にて比較し得るか否かを見ん爲獅子座の ρ 星附近に望遠鏡を向けし所其の視野の中に星雲らしき一ケの星を見出し候が30分計りして濃氣の爲に見悪くなりし爲如何ともなし難く待ちに待つて翌十六日再び同位置に望遠鏡を向けし所同星が確かに一度計り東北の方に移動せしを見彗星と斷じ候、然し此の位の星を私よりも尙完備せる機械を持ち多くの經驗を有する學者の眼より逃る理由なきものと思ひ不敢取小望遠鏡を通して見得る彗星の有無をウエルソン天文臺に問合はせし所なしとの回答に接し候故翌十七日彗星の大體の位置を同天文臺に電送し同夜同天文臺にて此れが寫眞をとり彗星なりと斷ぜられしものにして感謝の念に堪へざるものに御座候。

尙貴下が天文學のポピュラーライズに著書を通じて或は新聞雜誌に又は同好會等の爲に盡力せらるゝを見聞し誠に欣慕に堪えざる次第に候。

先は亂筆乍ら祝電に對する御禮及び發見當時の小況まで早々。

一千九百卅一年九月六日

北米合衆國加州帝國平原

ブローレー市郵函二六三

長 田 政 二

山 本 博 士 机 下

事務室より

昭和六年十月例会記事

十月二四日(土) 晴・絶好の登山日和で秋色を打観しつつ、諸方より花山へ向け來聴者がみへた。午後三時半恒例の通り 十月例会を開會、會長山本先生の御挨拶が済んで愈々當日の 講演者理學士柴田淑次氏が演壇に立たれた。題目は「彗星と流星」約一時間に亘り彗星流星の一般的知識より 氏の日頃の御研究の跡を面白く御發表になつた。要言すると、忽然として 現出した天界の浮浪者の如き彗星は一躍世界天文學界の人気者となり 忠實なるオブザーバーは連夜この珍客の行動の一分始終を精密に觀測する その内に何年かを經ると世界の人気者も浮氣が過ぎて次第に破滅の悲運に向ひ二つに分れ 三つに裂けて暫くはその餘勢を止むるか終には全部が分裂して自己の軌道に散亂する。その後は唯地球の運動がありし日の彗星の軌道と交る時に流星となつて 愁雨の如く降りそゞぎ、あたかも過去を悔ゆる涙の如くに流るのである。以上の如き有様を如實に觀測しつつある天文學者は流石に一脈の愁れを 催さずには居られないと云ふ意味の話であつた。

近頃はめぼしい大彗星が出現しないので學者達をいらいらさして居る時である所で敢て豫測するならば、近々、ともすれば今夜にでも前のハレー彗星の如き大彗星が出現しても好い時期である。かゝる機運に満ちた秋に當り彗星に對する豫備知識を得た事は我々天文 愛好會に取り實に深い意義のある事を感じざるを得ない——との山本先生の結びの御言葉を承り五時閉會、

會計事務引繼の辭

池 田 政 晴

此度私の都合で辭任を申し出た所、幸に御許が出、且適當な後任者を指命されたので、其方に會計を御引繼する事にしました。昭和三年に之を御引受して以來三ヶ年餘の間先づ大過なく務める事が出來たのは、幹部始め、支部幹事、其他會員諸君の私に對する甚大な御後援の賜と深く感謝して 居る次第です。會計を御引受けした頃は不幸か。幸か、同好會としては、かなり窮迫した時であつたので、勢ひ總てが眞剣になり私としても非常な好い經驗をし

たと思つて居る。諸経費の極端な節約からして遂には原稿料の縮小に及んで、天界は遂に熱心な寄稿者の好意のみによつて出来る様な有様となり、會計としては誠に恐縮でした。あの不景氣勿論影響したし「星」の發行、會費の値下等隨分苦しい時期があつたが、此頃は會員諸君の御盡力により新入會者も多く、會計も少しゆとりが出来、從來から掛借になつて居る印刷費も大分支拂ふ事が出来る様になつた。この調子で行けば二三年後には借金は完済出来る。そしたら愈々すばらしい積極的な活動が始る事と思はれる。

此頃はどこでも赤字大流行であるのに、同好會は之に反して一步一步基礎を固めて居るのは全く此會が會員組織であるからである、此組織であればこそ、今日までの苦境に堪へ將來への發展を期し得るのである。之は私が三年餘の間に切實に感じた事である。この意味から現在の會員諸君が更に益々多數の新入會者を勧誘されむ事を切望して止まない。

三年餘の間には隨分思はぬ失敗もあり、又時々勝手な事もやつたがあまり立入つた事は廣島の總會の打開話に譲つて、茲では會計の大體の狀態と將來に對する希望を申上げた次第である。

今後私は大學内に居る事故、會員諸君に御目にかゝる機會も多からうが會計としては此機會を以て一先御別れする。

尙新會計に對しては私同様御後援下さる様御願致します。

就 任 の 御 挨 拶

三 宅 義 夫

此度會長の御指命により不肖私が同好會々計の重職を授かりました事として實に欣喜おく能はざる所であります。顧みますると去る六月始め、日氏が辭任の意を漏らさるゝより直ちに氏の後繼を屬望し、それより助手勤める事既に半歳、その間氏の御懇切なる御教導、御指鞭を添し漸く後繼の資格を得ました事を喜ぶと同時に指導の勞を御取り下さいました氏に對し滿腔の謝意を表する次第であります。

扱て愈々私が會計をお預りするに當りまして、會長初め役員の方々及び廣く會員諸子より、未熟なる私に對し厚い後援助を賜らん事を切に切に御願致します、簡單乍ら以上にて會計引繼の御挨拶と致します。